愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	西崎 有多子	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

卒業研究を通して、研究の方法、論文の書き方、研究内容の発表方法を学び、各自のテーマについて、広く資料を集め、分析し、研究を行う。主体的に興味を持って探求する実力を養う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	可能な限り、進捗状況を合わせながら、研究の各段階における留意点を確認しながら進める。互いの研究内容、研究方法について情報交換、ディスカッションを行い、必要に応じて修正しながら進めていく。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	研究の進捗状況確認	夏休み中の卒業研究の進捗状況について発表し、今後の計画を再立案する。	□
第2回	研究計画の確認	研究計画の再確認を行う。	□
第3回	論文の構成	論文の構成を決める。	□
第4回	先行研究と引用	先行研究の用い方と引用の方法を確認する。	□
第5回	序論(1)推敲	序論の書き方を知り、序論を書く。	□
第6回	序論(2)完成	序論を発表し、手直しをする。	□
第7回	本論(1)検討	本論の書き方を確認し、本論を書く。	□
第8回	本論(2)推敲	本論を書き進める	□
第9回	本論(4)完成	本論を発表する。	□
第10回	中間発表会	中間発表会で進捗状況を発表する。	□
第11回	結論(1)検討	結論の書き方を知り、結論を書く。	□
第12回	結論(2)推敲	結論を書き進める。	□
第13回	結論(3)完成	結論を発表する。	□
第14回	卒業論文の完成	論文を仕上げ、卒業研究発表会のための準備作業を行う。	□
第15回	卒業研究発表会	卒業研究を発表する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前に各自で2時間以上、研究を進め、書き進む。授業後に各自で2時間以上、授業で気づいたり、指摘された事柄について再考し、修正し、更に書き進める。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

卒業研究は作成段階を細かく分け、その都度締切を設けてペースが遅れないようにし、学生から段階ごとに提出された原稿を、添削ならびに解説を行い、返却することを繰り返しながら、実際の書き方を学びながら完成させていく。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	卒業研究の具体的な資料の活用方法を理解し、研究計画を書くことができる。資料の活用方法を考えることができる。

思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	卒業研究の構成を資料と照らし合わせて具体化できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	卒業研究において、理論的かつオリジナルな構成を考え、結論に向けて書き進むことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内小テスト　20%、提出物、発表、実技、積極的自発的姿勢　80%　課題は提出期限に遅れるほど減点する。基準の詳細は授業内で説明する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	大学生と留学生のための　論文ワークブック	978-4-87424-127-1
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		